

一、金壹圓森銭

藤巻

殿

一、鑰付支那靴着

今村練志

殿

一、びきり用鎖

恵善坊殿

〇 雜 報

△會長親下上京。大會後引續

山務御繁忙を極めさせられし

會長親下には来る天長節宮

中拝賀式御参列の御都合等

あらせられ二十七日早朝御

上京の途に就かせらる

△天台宗大學生登山 本月

本月二十五日東京全宗大

學職員及び生徒二十名

登山す學院より職員總代

達及教師生徒總代望月寛

一歴甫恩の諸君總門迄出迎

す午午後恩親岡本様に就

き遠方教師并に伊左衛門

木の両君案内せらる望月

院本様の上十時下山し林

收授及び茶室並望月の諸君

総門迄見送れり

## 〇 會員異動

△内藤教授晋山 本月十

月十二日縣下穂積村妙樂現  
 室室前(職寺)へ宗轉せられ左  
 日晋山式舉行に付き青木及  
 授及角田君令寺迄見送り祝  
 辞を呈す  
 △田附收授飯岡 分年收鞭  
 を取られし今收授今圓師坊  
 本堂再建の爲主る二十日飯  
 岡せらる。明春早々登山再ひ  
 收授の任に當らるへし  
 △平原銅子兩君の入營 兼  
 て徴兵検査に合格せられ  
 兩君は愈来る十二月一日入

嘗の令を受けられたり。  
 △島收師よりの来状  
 兼て満天下に披露ありて大山慈寛  
 大師遠忌の種実雜亂  
 真言七國の種あかしのく本  
 日より開府といひ前景氣に  
 三日夜より大暴風雨に連日の降  
 雨折角准十備の建物けりや  
 破壊せられて再建するにあらざ  
 りや今日午前八時より法華  
 八講十一対より真言護摩三時  
 あり東寺道夜分より執教と云  
 差走り同休昨夜より押かけ内  
 山大師主善の生原寺に宿屋と達  
 度敷敷け宿すを命せられふ人  
 部屋にのみある侍々より是より無  
 真機を肩にして出機けんのふ委  
 の椅子は次子に放道すべし





